

地球温暖化対策実行計画

(第1期)

実施状況結果

平成28年度～令和2年度

令和3年12月

西濃環境整備組合

1. 地球温暖化対策実行計画について

当組合では、平成28年3月に地球温暖化対策実行計画（第1期）を策定し、温室効果ガスの排出量の削減に向けてさまざまな取り組みを進めました。

2. 実行計画（第1期）の削減目標

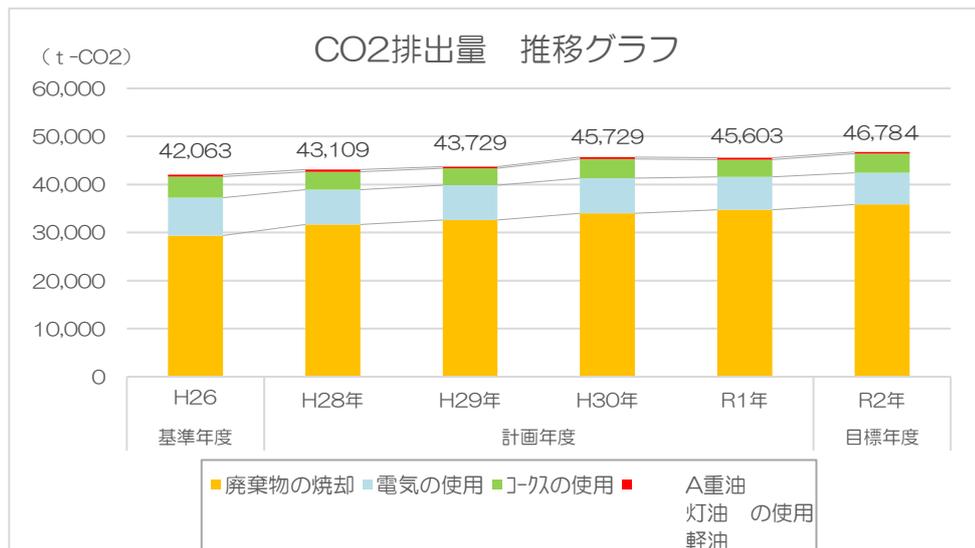
基準年度を平成26年度、計画期間を平成28年度～令和2年度までの5年間、目標年度を令和2年度とし、目標年度の二酸化炭素排出量を、基準年度から5%削減することを目指しました。

区分	基準年度 排出量 平成26年度	削減目標	目標年度 排出量 令和2年度
二酸化炭素 (CO ₂)	42,063 t-CO ₂	5%	39,960 t-CO ₂

3. 実施状況結果

年度	基準年度	計画年度									
		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目(目標年度)	
	平成26年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度	
CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量	基準年度比	CO ₂ 排出量	基準年度比	CO ₂ 排出量	基準年度比	CO ₂ 排出量	基準年度比	CO ₂ 排出量	基準年度比	
廃棄物の焼却	29,394 t-CO ₂	31,686 t-CO ₂	7.8% 増加	32,605 t-CO ₂	10.9% 増加	34,012 t-CO ₂	15.7% 増加	34,716 t-CO ₂	18.1% 増加	35,859 t-CO ₂	22.0% 増加
電気の使用	7,863 t-CO ₂	7,257 t-CO ₂	7.7% 削減	7,256 t-CO ₂	7.7% 削減	7,335 t-CO ₂	6.7% 削減	6,883 t-CO ₂	12.5% 削減	6,575 t-CO ₂	16.4% 削減
J-1の使用	4,393 t-CO ₂	3,680 t-CO ₂	16.2% 削減	3,540 t-CO ₂	19.4% 削減	3,968 t-CO ₂	9.7% 削減	3,604 t-CO ₂	18.0% 削減	3,987 t-CO ₂	9.2% 削減
A重油 灯油 の使用 軽油	413 t-CO ₂	486 t-CO ₂	17.7% 増加	328 t-CO ₂	20.6% 削減	414 t-CO ₂	0.2% 増加	400 t-CO ₂	3.1% 削減	363 t-CO ₂	12.1% 削減
各年度 CO ₂ 排出量の合計	42,063 t-CO ₂	43,109 t-CO ₂	2.5% 増加	43,729 t-CO ₂	4.0% 増加	45,729 t-CO ₂	8.7% 増加	45,603 t-CO ₂	8.4% 増加	46,784 t-CO ₂	11.2% 増加

目標年度のCO₂排出量が、基準年度より 11.2% 増加



4. まとめ

目標年度である令和2年度のCO₂排出量の合計は、46,784 t - CO₂となり、基準年度から11.2%増加した結果となりました。

電気の使用、コークスの使用、及びA重油・灯油・軽油の使用のCO₂排出量は、削減することができましたが、廃棄物の焼却からのCO₂排出量を削減できなかったことが、11.2%増加した主な原因となっています。

当組合のCO₂排出量を削減するには、CO₂排出要因の多くの割合を占める廃棄物の焼却を削減することが必要になります。そのためには、ごみの減量化、3R（リデュース・リユース・リサイクル）、昨今増加傾向であるペットボトルやプラスチック製容器の分別が大変重要となりますので、ごみを出される皆様のご協力をお願いいたします。

また、当組合においては、すでに地球温暖化対策実行計画（第2期）を策定しておりますので、さらなる温室効果ガス排出抑制に努めてまいります。